

翔べ！松中生

令和4年度 第9号 1月10日発行

「新しい年に目指す物！」

校長 齋藤 明

新年、明けましておめでとうございます！

17日間の冬休みが終わり、2023年（令和5年）の3学期が始まりました。

この3学期は、1、2年生にとっては52日間、3年生は46日間と、とても短い期間ですが、今年度のまとめや新年度への準備などを控えた重要な期間となります。

元日の初日の出を松伏中学校越しに見ると、輝く太陽に照らされた校舎がとても美しく見えると同時に、松伏中に1年のスタートを切るための「元気」や「勇気」を与えてくれているようにも感じました。



今年の卯年は、目に見えて大きく成長する年だといわれています。

また、うさぎは跳びはねることから、飛躍するという象徴とも言われています。人間の能力には、それほど差はありません。大抵のことは、取組次第で誰でもできると思います。そんな中、「夢」や「目標」を叶えている人は、「本気」で達成しようと努力してきた人達ではないでしょうか。

2023年は、1人1人が、明確な「夢」や「目標」をしっかりと立てて、それぞれが飛躍のできる充実した年になることを願っています。

先日行われた箱根駅伝では、55年ぶりに本戦に出場した大学がありました。本戦出場は、シード落ちした前年度の本選出場校を含む43校中わずか10校の出場枠という激戦です。監督は就任4年目での快挙となりましたが、就任当時は選手に箱根駅伝をTV観戦しようと呼びかけても誰も集まらず、1人で観戦したそうです。きっと選手達は、本戦出場を長年果たせなかったことで、遠い存在となってしまう、本戦出場という「目標」を見失ってしまったのでしょう。

しかし、大学では来年度の100回大会の出場を「目標」にOBの現監督を招聘してチームの改革を図り、今回の出場を勝ち取りました。やはり、「目標」は大きな力となり、選手それぞれの努力が報われた結果でした。本戦では、襷を最後まで繋ぎ健闘しましたが、18位におわり、次年度も予選会からのチャレンジとなります。しかし、襷を最後まで繋ぎ最後まで健闘するという「目標」を達成したことで、次の「目標」が明確になり、今後が期待できる存在になります。

また、高校の全国大会が、この時期にサッカー・バスケットボール・ラグビー・バレーボールなど多くの種目で開催されました（されます）。中学校卒業後に、高校でも競技を続けたい人や今の自分のスキルを高めたい人には、「目標」や課題が見えてきますので、観戦をお勧めします。

1つの「目標」をコツコツと取り組み達成することで、次の「目標」が見えてきます。様々な自分の「夢」や「目標」のすべてが達成できるかどうかは分かりませんが、「夢」や「目標」を「生きがい」に努力していくことは、とても大切なことです。

今年1年、自分の成長を信じて頑張る年としましょう。

飛躍！そして輝け 松中生！

